

KUBIREASHI

エネルギー・マネジメント①

大きな仕事を成し遂げる力を養成せよ

スキルアップトレーニング

超 人

- ・ 病気を治す力も、人生の成功も、エネルギーの大きさや使い方にかかっている。
- ・ 『目的』とする方向にエネルギーを注けば、一般人では考えられない能力が發揮され、超人と呼ばれるようになる。

エネルギー・マネージメント

- ・エネルギーについて知り、「エネルギー」という言葉に臨場感が宿れば、今回の講義で超人に近づくことになる。
- ・超人になることを恐れず、エネルギーを高めてマネジメントしていく術を伝授する講義である

エネルギーとは

- ・エネルギーとは、物体内部に蓄えられた仕事をすることのできる能力
- ・精神面もエネルギーと呼ぶ(気力、活力)
- ・質量、光、電気、栄養もエネルギー
- ・これらのエネルギーを目的を成すために発揮すると大きな仕事が達成され

意 識

- ・ 意識は、
顕在意識、潜在意識、無意識に分けられる。
- ・ 顕在意識の情報処理量というのは1秒間に22bit。
潜在意識は110万bit。
無意識は70億bitと言われています。
- ・ bitとは、コンピュータが扱う情報の最小単位

意思+気

- ・仕事をなす力とは、気(エネルギー)の大きさと方向によって左右される
- ・意識=意思(方向)+気(エネルギー)
- ・大きな仕事をなす場合は、望む方向へとエネルギーが注がれた状態
- ・病気になる場合は、身体が病む方向へとエネルギーが注がれた状態

健康体

- ・ 健康体を構築するには、肉体的にも精神的にも、また社会的にも健康になる方向へエネルギーを傾ければ良い
- ・ エネルギーを高め、エネルギーを循環させ、エネルギーの漏れを無くせば健康になれる

環境

- ・人は環境に影響を受ける。
- ・『朱に交われば赤くなる』(望む方向にも望まない方向にも左右される)
- ・長寿村とか日本、北欧などは「長生きしやすい環境」だが発展途上国は、長生きをしやすい環境とは呼へない (人、物、資金の不足)

エネルギー利用

- ・先進国は発展途上国と比較して、人、物、資金などのエネルギー源を利用しやすい
- ・医学などの知恵や知識にも高い人的・物的・資金的なエネルギーが内在する
- ・これらのエネルギーを活用できる国に住むと、健康という高エネルギー体を獲得しやすい

抽象度

- ・「愛があれば大丈夫」は抽象度が高い概念
- ・大切なだけを抜き出して、他を捨てる
→アイデンティティクライシス
- ・抽象度高 生物>動物>ヒト>山田太郎 低
- ・抽象度が高いことには、エネルギーが内包されている